



顔認証はどれも同じではない

迷惑行為や不正遊技を行った人物の来店制限。リカバリ一申請者様の来店把握。18歳未満と思われる人物をリストアップ。他店玉/メダルの持ち込み監視(短時間に頻繁な入退店をくり返す人物を検出)。



マスクをしても

AIとディープラーニングによる顔検出&認証技術。高速 0.2 秒解析 / 同時処理最大 30 人 / 認証精度 90% 以上。
従来システムや他社製品では、検出不可または誤認証となっていたマスクやサングラスの着用者に対しても、高い認証精度を発揮します。

「来た」を確実に

「検出順」「カテゴリー別」「ターゲット(特定個人)」3つの観点で認証結果をビジュアル化。
忘れ物を預かっているお客様。プレミアム会員様。リカバリ一申請者様。不正遊技や迷惑行為を行った者。未成年者など、来店を把握したい属性のお客様や特定個人の「来た」を漏らさずキャッチします。

徹底追跡

監視カメラメーカーだからこだわったカメラシステムとの強力な相互連動。[※]
「顔」で検索してカメラ映像を呼び出し、対象人物の店内動線を追跡。カメラ映像内の「顔」からデータベース照合や過去の来店映像にアクセスなど、価値ある相乗効果を実現しています。

[※]相互連動には、既設または追加で当社製監視カメラ統合管理システムが必要です。

パチンコ業界の顔認証システム標準化に向け
まずは知っていただきたく

オンラインデモ実施中

お電話または当社 WEB サイト(右側の QR コード)からお申込みください。

※ウェブ会議形式のデモになります。
※状況を判断のうえ、訪問対応も承ります。

072-222-8880 平日 10:00 - 19:00

アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービス株式会社 本社 技術部 企画まで
〒590-0931 大阪府堺市堺区錦之町西3-3-27



▶ 全国10都市展開 ▶ 東京/大阪/名古屋/福岡/札幌/仙台/金沢/高松/広島/熊本

「来たらわかる」「わかれば追える」を簡単に！ 顔認証アプリケーション「EX-Face」



専用管理 PC に入れて運用する顔認証アプリ「EX-Face」のホーム画面。上部は「検出順」、その下の領域が「グループ別」、画面右側は「ターゲット」と視覚的に分かりやすい構成。なお、ターゲットの左上にある緑色の丸は、18歳未満の可能性のある人物が来店した際に点滅して知らせる

監視カメラシステムのジャンルで各台カメラや全店監視などの業界標準を提案してきたアイ・ティ・エイ・ヴィジョン「EX-Face」(エクスフェイス)をリリース。早くも話題を集めている。
この顔認証アプリは、100万人以上の顔データをもとに開発されたAIのディープラーニングアルゴリズムによる顔認証エンジンを実装。コロナ禍で必須となったマスク着用はもちろん、髪型の変化、眼鏡やサングラス、メイクや加齢などでも高い認証率を実現し、精度、速度、並行処理能力とも業界トップクラスの認証技術を誇る。
検出・認証状況の表示や検索機能もユーザビリティをとことん追求。ホーム画面は、①検出順(直近10件を時系列で表示)、②グループ別(任意の属性で作成した最大16グループのうち3グループの直近5件の認証結果を表示)、③ターゲット(来店を確実に把握したい人物を常時表示し、検出・認証されるとアラート枠が点滅)の3つの観点で表示し、どこに何が表示されているのか分かりやすい構成になっている。
検索も「スマート検索」で簡単かつスピーディ。ホーム画面の黄色ボタン(イベント検索)をクリックするとタイプ別に対象グループの検出・認証結果が表示され、赤色ボタン(顔写真検索)

をクリックすると対象人物を絞り込んだ顔検索結果が表示される。
また、検出・認証結果1件ごとに検索(赤)、登録(橙)、再生(緑)の3つの実行ボタンを配置し、少ないクリック数で目的を果たせる仕様になっているが、こうしたところも同社製品の特徴のひとつ。目的の映像に辿り着くスピードを格段に向上させている。
監視カメラシステムとの連動性能もシステムインテグレーションの同社ならではの。同社製の監視カメラ統合管理システムがあれば、特定人物の追跡が可能。顔の検索結果から監視カメラの録画映像を呼び出し、統合管理システムのリレー機能を使って追いかける。対象人物が移動によって見切れても、周辺カメラへつなぐことで追跡を継続し、店内動線のトレースを徹底的にサポートする。また、他店メダル持ち込み防止に役立つオブション機能も搭載し、短時間に店舗入口を頻繁に出入りする人物を検出して知らせる。
18歳未満の入場やのめり込み防止の対応、グループ打ちやゴトなど不正対策は、省人化が進む中でもホールに必須の取り組みだ。「EX-Face」は、マスク着用が前提の状況下でもそうした部分を幅広くカバー。アプリ導入費も従来製品の約半分にまで抑えたため、新たな業界標準となる展開が期待されている。